

TIサーキットで
チューナーの
意地が爆発!

ADVAN CLUB CUP

'93走り屋チューナー

日本一決定戦



取材のお誘いと参加のお誘いを勝手にごちゃ混ぜにしてしまったマサ・サイトーは勇んでTIサーキットにてかけたのであった。



乱入記 改め 見学記



ある日、OPT編集部から音が入った。10月19日にTIサーキットで走り屋チューナー日本一を決めるバトルをやるからOPT2も取材にきますか? という内容だった。

「なにー!? TIで走り屋チューナー日本一決定戦をやるってすか? ファン、今度こそ本場の日本一が決まる。ウンウン、へえええ。オツケー、じゃオレもボロハチで出ます。えっ、チューナーじゃないからダメ!? なんてっすかあ、いいしよお、オレだって、走り屋編集者日本一を自称してるんすから。じゃそーゆーわけでハイハイ、どーもお」

「サーキットでバトル」と聞いてちやあ黙ってらんないぜ!

10月19日、快晴のTIサーキットに西日本の実力派ショップが集結した。

我こそは日本一の走り屋チューナーを自称している強者ばかりだ。

昨年6月、間瀬サーキットで「走り屋チューナー日本一決定戦」がOPTの主催で開催された。しかし、新潟県という、西日本からは非常にアクセスの良くない条件によって集まったショップは東日本勢が大半を占め、事実上は「走り屋チューナー東日本一決定戦」であった。

納得できないのは、西日本のチューナーだ。「オレはもっと速いぞ!」「西日本一の走り屋チューナーを決めて東日本一と勝負しようじゃないか!」そんな経緯から今回のTIバトルとなったわけだ。

まさに一方的な会話だった。取材のお誘いを、参加のお誘いと完璧に混同している。相手のいうことなんぞ聞いちゃあいない。さっそく事務局であるマツキー牧原の会社に音を入れる。

「今度のTI、おもしろそうなんだけど出ます。えっ!? チューナーじゃないからダメ? またあ、そんな固いこといわないでお願いしますよ。そこんとこをなんとか、お願いします。じゃそーいうわけで」ガチャ。

ホンットにわがままである。ダメだつてものを強引にねじ込む。取材と名がつけば何をやってもいいとも思っているのだろうか。

マサ・サイトー
GTR RFD3S
スープラの軍団に
ボロハチで挑む!!